

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年1月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【共用プール空気圧縮機(A) 出口配管接続部からの空気の漏えいについて】 当直員が作業の終了に伴い、共用プール空気圧縮機(A) 吐出弁の「開」操作を実施したところ、空気圧縮機(A) 出口配管接続部より空気がわずかに漏えいしていることを確認。 当該配管接続部の増締めを実施したものの空気の漏えいは継続。 代替として共用プール空気圧縮機(B)を運転し、機能に影響はない。 今後、当該配管を交換予定。</p>	G III	12月24日
2	<p>【増設多核種除去設備の炭酸ソーダ貯槽1供給ポンプ(C) 吐出流量調節器の動作不良について】 当直員が、増設多核種除去設備の炭酸ソーダ供給ポンプ(C) 吐出流量調節器の指示値が周期的に変動しており、現場を確認したところ、流量設定値を一定にしているにもかかわらず、弁開度の変動し炭酸ソーダの流量が一定ではないことを確認。 応急処置として、弁開度を固定する操作を行い、吐出流量が規定値で安定していることを確認。 吐出流量を規定値で安定させているため、系統運転に影響はない。 今後、当該調節器を点検・修理予定。</p>	G III	12月24日
3	<p>【建屋内淡水化装置の還元剤注入ポンプ(B) 吐出配管の詰まりについて】 当直員が、建屋内淡水化装置(B)の運転準備において、還元剤タンク(B)に設置してある還元剤注入ポンプ(B)の運転を開始したところ、同ポンプ吐出配管の安全弁より当該タンク内に薬液が戻っていることおよび還元剤タンク(B) 水位が低下しないことを確認。このため、吐出配管の詰まりと判断。 淡水化装置は、建屋内淡水化装置(A)系および既設淡水化装置が待機中のため問題なし。 今後、建屋内淡水化装置(B) 還元剤注入配管の点検・修理を実施予定。</p>	G III	12月24日
4	<p>【6号機廃棄物処理設備建屋地下滞留水の移送用仮設ポンプ(A) 電源回路の動作不良について】 当直員が、6号機廃棄物処理設備建屋地下滞留水の移送業務において、移送用仮設ポンプ(A)を起動するため当該ポンプ(A)の電源をOFFからONへ操作した際に、漏電しゃ断器の操作レバーが中間位置に戻り当該ポンプ(A)が起動しないことを確認。このため、当該ポンプ(A) 電源回路の動作不良と判断。 移送業務については、移送用仮設ポンプ(B)を使用し実施できることから滞留水の移送業務には影響はない。 今後、当該ポンプ(A) 電源回路の点検・修理を実施予定。</p>	G III	12月24日